



あたらしい本

第196号 2020. 4. 15 発行 (こども版)



たくさんよんでくださいね!

「とりあえずありがとう」 ^{ごみ たろう さく えほんかん} 五味太郎 / 作 絵本館 (えほん 幼児向き)

トイレで紙かみがなくて困こまっていたら、窓から紙飛行機まど かみひ こうきが……。いじめっこにいじめられていたらおすもうさんが……。とりあえず「ありがとう」と言いってしまう愉快ゆかいなシチュエーションが盛りもだくさんのユーモア絵本。

「たまごにいちゃんとげんちゃん」 ^{さく え} あきやまだし / 作・絵
^{すずき しゅっぽん} 鈴木出版 (えほん 幼児向き)

大事だいじなたまごにひびが入いるのを心配しんぱいして、石いしをよけながら歩あるいているたまごにいちゃん。とっても元気げんきな友達ともだちのげんちゃんは、いつも石いしの上うえをとびはねながら走はしって来るけど、必かならず失敗しっばいして……。たまごにいちゃんシリーズ。

^{せんりょう} 「千両みかん」 ^{やなぎやこさんじ らくご せんりょう} 柳家小三治・落語「千両みかん」より ^{のむら ぶん え} 野村たかあき / 文・絵
^{やなぎやこさんじ かんしゅう きょういくがげき} 柳家小三治 / 監修 教育画劇 (えほん 小初向き)

寝込ねこんでいる若旦那わかだんなが心こころにかかって忘れわすられないもの。それは、みかん。お安やすい御用ごようと、笑顔えがおでうけあつた番頭ばんとうだが、今いまは夏なつ。みかんはどこにも売うっていないくて……。
古典落語こてんらくご「千両みかん」を丹精たんせいな木版画もくほんがで絵本化えほんか。

「えんそくのおばけずかん おいてけバスカイド」 ^{さいとうひろし さく} 齊藤洋 / 作
^{みやもと え こうだんしゃ} 宮本えつよし / 絵 講談社 (よみもの 小初向き)

えんそくにはこわ〜いおばけがいっぱいいます。でも、このお話を読よめばだいじょうぶ。「ちこくま」をはじめ、「ブラックバス」「そんなバナナ」など、えんそくのこわいおばけのはなし話わ 7話しゅうろくを収録。

「紙ひこうき、きみへ」 野中 柊 / 作 木内達朗 / 絵

偕成社 (よみもの 小中向き)

シマリスのキリリのところに、青い紙ひこうきがとんできました。開くと「こんにちは。夕方には、そちらにつきます」と書いてありました。キリリは、外でいっしょにごはんを食べようと準備しました。そして、あらわれたのは・・・。

「コトノハ町はきょうもヘンテコ」 昼田弥子 / 作 早川世詩男 / 絵

光村図書出版 (よみもの 小中向き)

ことわざや慣用句などのことばどおりのことが起こるコトノハ町。そんなちょっぴりヘンテコな町にすむ、小学生レンちゃんのお話。巻末に「あなたの町のことば辞典」付き。「飛ぶ教室」掲載を単行本化。

「アーニャは、きっと来る」 マイケル・モーパゴ / 作

佐藤見果夢 / 訳 評論社 (よみもの 小上向き)

第二次世界大戦下のフランス山間部の村。羊飼いの少年ジョーは、ユダヤ人の子どもたちと出会い、彼らの亡命に協力することになる。さて、村人全員を巻き込んだ大騒動の逃亡劇の行方は・・・。

「おいで、アラスカ！」 アンナ・ウォルツ / 作 野坂悦子 / 訳

フレーベル館 (よみもの 小上向き)

子犬のときに飼っていたアラスカが、転校してきたスフェンの介助犬になっていた。それを知ったパーケルは真夜中、スフェンの部屋を訪ね、アラスカを連れ出そうと計画し・・・。[銀の石筆賞 (2017年)]

さかどしりつちゅうおうとしょかん
坂戸市立中央図書館 TEL281-6369

※図書館流通センター「新刊全点案内」より引用